

中国地方 SDGsに関する企業の意識調査 (2024年)

『SDGsに積極的』、3年連続の5割超え

～取り組みによる効果、「企業イメージの向上」が47.7%でトップに～

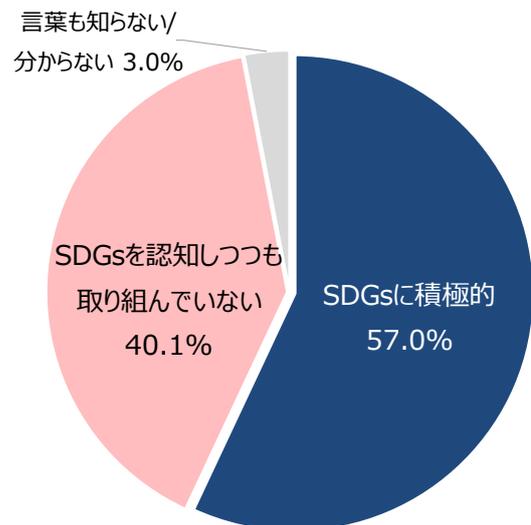
はじめに

持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成され、カラフルなドーナツ型のデザインが特徴のSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。目標達成期限である2030年に向けた取り組みは後半戦に突入しており、世界的に対応が急がれている。

こうしたなか、政府は2023年12月にSDGsを達成するための中長期的な国家戦略である「SDGs実施指針」を4年ぶりに改定した。同指針では、社会課題の解決を通じて事業性を高める企業等への支援の強化など民間企業に関わる内容も多く、政府は官民を問わずに国全体としてSDGsの目標達成に向けて力を入れている。

そこで、帝国データバンクでSDGsに対する企業の見解について調査を実施し、中国地方のデータを広島支店でまとめた。調査期間は2024年6月17日～30日、調査対象は中国地方に本社を置く企業2122社で、有効回答企業数は739社(回答率34.8%)。SDGsに関する調査は、2020年6月、2021年6月、2022年6月、2023年6月に続いて今回で5回目。

■SDGsへの理解と取り組み



注: 母数は本調査の全有効回答企業739社

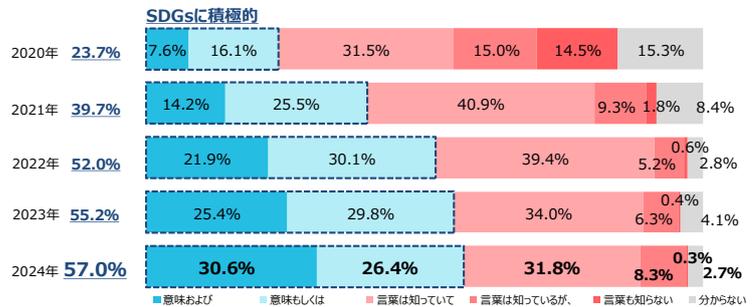
調査結果 (要旨)

- 『SDGsに積極的』な企業、3年連続で5割を超える
- 17目標のうち、現在取り組んでいる目標は「働きがいも経済成長も」が34.2%でトップ
- 17目標のうち、今後最も取り組みたい目標も「働きがいも経済成長も」がトップ
- SDGsへの取り組みによる効果、「企業イメージの向上」が47.7%でトップ

1. 『SDGsに積極的』な企業、3年連続で5割を超える

自社におけるSDGsへの理解や取り組みについて尋ねたところ、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」と回答した企業は739社中226社、構成比30.6%だった。前回の2023年6月調査(25.4%)から5.2ポイント上昇した。一方、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」は26.4%(195社)で、前回調査(29.8%)から3.4

■SDGsへの理解と取り組み



注1: 母数は有効回答企業739社。2023年6月調査は761社、2022年6月調査は782社、2021年6月調査は656社、2020年6月調査は654社
 注2: 下線の値は青枠が指すSDGsに積極的の割合
 注3: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

ポイント低下したものの、この2項目を合計した『SDGsに積極的』は57.0%(421社)となり、前回調査(55.2%)から1.8ポイント上昇し、3年連続で5割を超えた。一方、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」(31.8%・235社)は、構成比が最も高かったものの、3年連続で低下し4割を下回った。次いで、「言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない」(8.3%・61社)と合わせた『SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない』(40.1%・296社)は5割を下回った。

規模別でみると、『SDGsに積極的』では、「大企業」(構成比78.2%・75社)が7割を超え、「中小企業」(53.8%・346社)よりも24.4ポイント高かった。一方、『SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない』では、「中小企業」(43.1%・277社)が4割を占め、「大企業」(19.8%・19社)よりも23.3ポイント高かった。なお、「言葉も知らない」と回答した「大企業」はゼロであったが、「中小企業」では2社(0.3%)あった。

■SDGsへの理解と取り組み

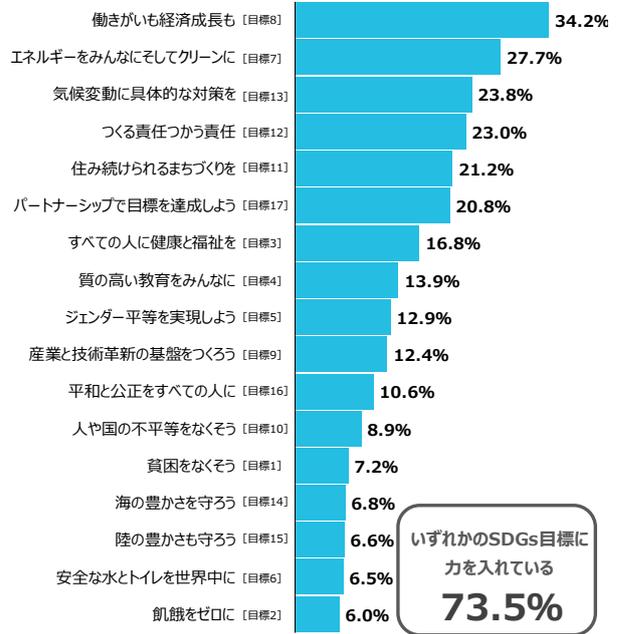
	SDGsに『積極的』		意味および重要性を理解し、取り組んでいる		意味もしくは重要性を理解し、取り組むたいと思っている		SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない		言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない		言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない		言葉も知らない		分からない		合計	
	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数	構成比%	カッコ内社数		
全国	54.5	(6,028)	29.7	(3,287)	24.8	(2,741)	40.9	(4,533)	33.5	(3,713)	7.4	(820)	0.5	(60)	4.0	(447)	100.0	(11,068)
中国	57.0	(421)	30.6	(226)	26.4	(195)	40.1	(296)	31.8	(235)	8.3	(61)	0.3	(2)	2.7	(20)	100.0	(739)
大企業	78.2	(75)	43.8	(42)	34.4	(33)	19.8	(19)	15.6	(15)	4.2	(4)	0.0	(0)	2.1	(2)	100.0	(96)
中小企業	53.8	(346)	28.6	(184)	25.2	(162)	43.1	(277)	34.2	(220)	8.9	(57)	0.3	(2)	2.8	(18)	100.0	(643)
うち小規模	43.1	(100)	19.4	(45)	23.7	(55)	53.8	(125)	40.9	(95)	12.9	(30)	0.0	(0)	3.0	(7)	100.0	(232)
農・林・水産	88.9	(8)	22.2	(2)	66.7	(6)	11.1	(1)	11.1	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(9)
金融	71.5	(5)	28.6	(2)	42.9	(3)	28.6	(2)	14.3	(1)	14.3	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(7)
建設	47.6	(50)	32.4	(34)	15.2	(16)	49.5	(52)	39.0	(41)	10.5	(11)	0.0	(0)	2.9	(3)	100.0	(105)
不動産	36.3	(8)	13.6	(3)	22.7	(5)	54.5	(12)	40.9	(9)	13.6	(3)	0.0	(0)	9.1	(2)	100.0	(22)
製造	68.2	(144)	35.5	(75)	32.7	(69)	29.4	(62)	21.8	(46)	7.6	(16)	0.5	(1)	1.9	(4)	100.0	(211)
卸売	55.4	(92)	25.9	(43)	29.5	(49)	42.7	(71)	33.1	(55)	9.6	(16)	0.0	(0)	1.8	(3)	100.0	(166)
小売	50.8	(34)	28.4	(19)	22.4	(15)	46.2	(31)	34.3	(23)	11.9	(8)	1.5	(1)	1.5	(1)	100.0	(67)
運輸・倉庫	48.6	(17)	22.9	(8)	25.7	(9)	45.7	(16)	45.7	(16)	0.0	(0)	0.0	(0)	5.7	(2)	100.0	(35)
サービス	53.9	(62)	34.8	(40)	19.1	(22)	41.7	(48)	36.5	(42)	5.2	(6)	0.0	(0)	4.3	(5)	100.0	(115)
その他	50.0	(1)	0.0	(0)	50.0	(1)	50.0	(1)	50.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(2)
鳥取	55.7	(34)	31.1	(19)	24.6	(15)	41.0	(25)	36.1	(22)	4.9	(3)	0.0	(0)	3.3	(2)	100.0	(61)
島根	54.5	(48)	31.8	(28)	22.7	(20)	42.1	(37)	36.4	(32)	5.7	(5)	1.1	(1)	2.3	(2)	100.0	(88)
岡山	55.2	(96)	32.2	(56)	23.0	(40)	40.8	(71)	31.0	(54)	9.8	(17)	0.6	(1)	3.4	(6)	100.0	(174)
広島	57.4	(155)	30.0	(81)	27.4	(74)	40.3	(109)	30.7	(83)	9.6	(26)	0.0	(0)	2.2	(6)	100.0	(270)
山口	60.3	(88)	28.8	(42)	31.5	(46)	36.9	(54)	30.1	(44)	6.8	(10)	0.0	(0)	2.7	(4)	100.0	(146)

注1: 網掛けは、中国以上を表す
 注2: 母数は有効回答企業1万1,068社、中国は739社

2. 17 目標のうち、現在取り組んでいる目標は「働きがいも経済成長も」がトップ

SDGs で掲げられている 17 目標のうち、現在取り組んでいる目標を尋ねたところ、目標の 8 つ目である「働きがいも経済成長も」が 739 社中 253 社、構成比 34.2% で最も高かった (複数回答、以下同)。次いで、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを活用する「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が 27.7% (205 社) であった。以下、「気候変動に具体的な対策を」(23.8%・176 社)、「つくる責任つかう責任」(23.0%・170 社)、「住み続けられるまちづくりを」(21.2%・157 社)、「パートナーシップで目標を達成しよう」(20.8%・154 社)、「すべての人に健康と福祉を」(16.8%・124 社) が続いた。

■SDGs17目標のうち、現在力を入れている項目(複数回答)



いずれかのSDGs目標に
力を入れている
73.5%

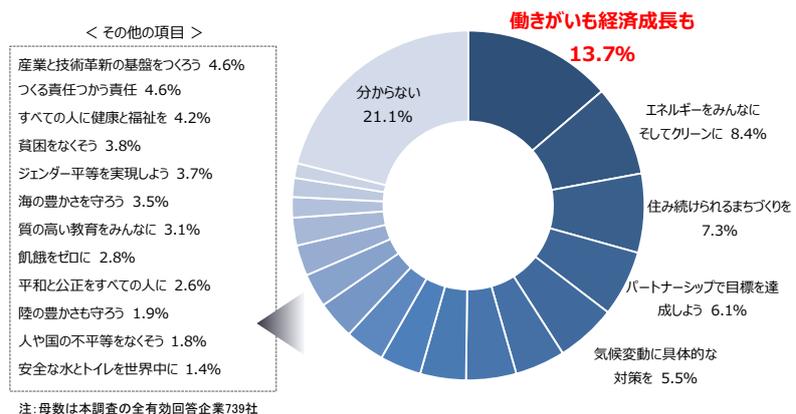
注：母数は本調査の全有効回答企業739社

一方、「飢餓をゼロに」(6.0%・44 社)は構成比が最も低く、次いで「安全な水とトイレを世界中に」(6.5%・48 社)、「陸の豊かさを守ろう」(6.6%・49 社)、「海の豊かさを守ろう」(6.8%・50 社)、「貧困をなくそう」(7.2%・53 社)、「人や国の不平等をなくそう」(8.9%・66 社)が 10%未満で続いた。

3. 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標も「働きがいも経済成長も」がトップ

SDGs で掲げられている 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標を尋ねたところ、目標の 8 つ目に掲げられている「働きがいも経済成長も」が 739 社中 101 社、構成比 13.7% で最も高かった (単一回答、以下同)。以下、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(8.4%・62 社)、「住み続け

■SDGsの17目標のうち、今後最も取り組みたい目標



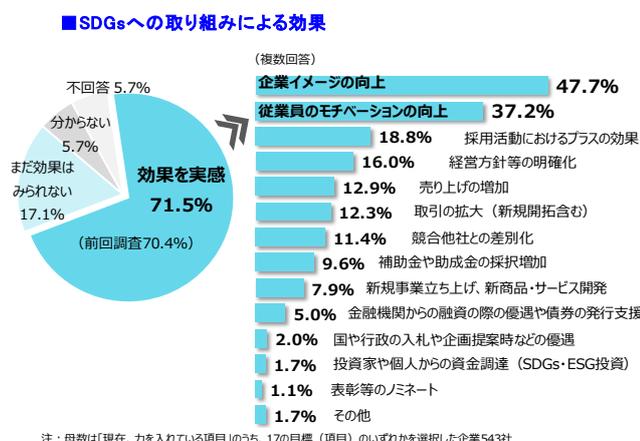
注：母数は本調査の全有効回答企業739社

られるまちづくりを」(7.3%・54 社)、「パートナーシップで目標を達成しよう」(6.1%・45 社)、「気候変動に具体的な対策を」(5.5%・41 社)が続いた。

石炭や石油などの化石燃料に代わって、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを活用することや、気候変動などによる災害発生への備えを意識する企業が多い傾向が見られた。

4. SDGs への取り組みによる効果、「企業イメージの向上」が 47.7% でトップ

現在 SDGs への各目標に力を入れている企業 543 社に、その取り組みによる効果を探ったところ、「企業イメージの向上」が 47.7% (259 社) で最も高かった (複数回答、以下同)。次いで、人材の定着率の向上につながる「従業員のモチベーションの向上」(37.2%・202 社) が続いた。以下、「採用活動におけるプラスの効果」(18.8%・102 社)、「経営方針等の明確化」(16.0%・87 社)、「売上げの増加」(12.9%・70 社)、「取引の拡大 (新規開拓含む)」(12.3%・67 社) が続いた。なお、「まだ効果はみられない」(17.1%・93 社)、「分からない」(5.7%・31 社)、「不回答」(5.7%・31 社) を除き、何らかの『SDGs への取り組みによる効果を得た』企業は 71.5% (388 社) となった。



まとめ

SDGs の社会的な認知度が高まり、官公庁や金融機関などからのサポートを受けやすい環境となってきたことなどで、SDGs に積極的に取り組んでいる企業の割合は 3 年連続で 5 割を超えた。SDGs の 17 目標のうち、「現在取り組んでいる目標」「今後最も取り組みたい目標」はともに『働きがいも経済成長も』がトップとなった。また、取り組みを通じて、「企業イメージの向上」「従業員のモチベーションの向上」の効果を実感している企業が多かった。

一方、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」と回答した中小企業は 34.2% になり、約 3 社に 1 を占めた。企業からは「大企業（メーカー）だけが取り組めばよい。下請けには余力無し。価格転嫁もままならないので」（製造・広島）、「活動自体に意味が無いとは思わないが、ポーズだけになっていることも多いように感じる」（化学品製造・岡山）など否定的な意見も聞かれた。SDGs の目標に対してそれぞれの立場で理解を深め、まずは自社に見合う目標から取り組み、持続的な企業の成長に繋がることが期待される。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：土川・松岡
 TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
 著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。